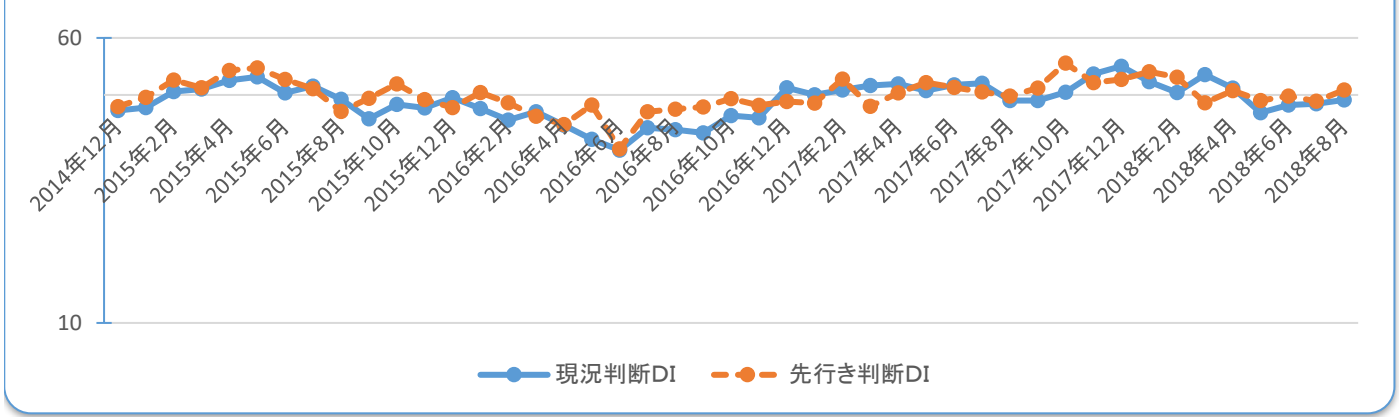


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年8月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《単価の動き》野菜の相場高と猛暑の影響もあり、売上高は予想よりも好調であった。特に客単価が好調に推移している。【スーパー（ブロック長）】
		不変	《来客数の動き》ドリンク、アイスは売れている。一部ドリンクはメーカー欠品でチャンスロスである。暑さで昼間の客はいない。野菜が高いので特売すると来客数がすぐ増える。しかし、売上は今一つである。【スーパー（販売担当）】
		やや悪	《お客様の様子》介護保険制度の改正により、8月から個人負担割合が3割に引上げとなる客がいる。福祉用具レンタル契約の客は、この先の負担が増えてしまうので、安く買い取れる中古品の問合せが増加中である。【その他サービス [介護サービス]（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》猛暑の影響により飲料関係の需要が増加したことにより、容器の販売が増加した。半導体向け需要は引き続き好調である。【化学工業（営業担当）】
		不変	《取引先の様子》株価、為替も大きな動きはなく、個人投資家の動きも鈍く様子見である。個人投資家以外の個人も収入が大きく増えていることはなく、大きな消費には向かっていない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	《求人数の動き》臨時的注文や納期の前倒しの依頼が一段落して、半年くらい前の状況に戻った。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》求人数は増加傾向にある反面、小規模ながら倒産、人員整理等もみられる。【職業安定所（次長）】
		不変	《周辺企業の様子》業績好調な企業の声も多く聞かれる一方で、中小零細企業では、人手不足、原料費や運搬・輸送費の高騰等を理由に利益が上がらないとの声を聞いた。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《周辺企業の様子》引き続き、自動車関連企業を中心に多くの引き合い残があるものの、エンジニア稼働率は全社平均より約2%低いため、やや悪くなっている。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	2~3か月先は、この夏にパーマもカットもできなかった客が秋になって来店するので良くなる。【美容室（経営者）】
		不変	人手不足と熟練度の高い人材の不足がネックで店舗効率が悪化している等、あちらこちらでコスト増加の影響が出てくる。【旅行代理店（経営者）】
		やや悪	余り全体的に前向きな感じではない。問合せが少ないわけでもないが、ここ数か月に比べると良くない。先行き不安な部分もある。【乗用車販売店（従業員）】
	企業 動向 関連	やや良	気候が秋らしくなり過ごしやすくなると、人の気持ちも警戒心が収まり消費が増える。また、社会情勢も国内外とも大きな変動がなく、東京オリンピックに向けて更なる投資も発生してくる。【通信業（総務担当）】
		不変	引き続き忙しいのは良いことだが、材料費の高騰がどこまで収益に悪影響となるか心配もある。【金属製品製造業（従業員）】
		やや悪	工作機械関係、半導体関係共に、設備投資が一巡しており、客先の様子から今後受注量が若干減少する。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	人手不足の状況が浸透し、ブランクのある主婦層も求職する状況になり登録数の増加につながってきている。また、ワークシェアを検討する企業も僅かに出てきているため、扶養枠内の就業希望者のマッチングにもつながってきている。【民間職業紹介機関（窓口担当）】
		不変	多くの企業が人手不足の状況であり、受注制限を要するケースもある等、一概に景気が上向くとは思われない。【職業安定所（次長）】
やや悪		求人は増加傾向が続いているが、人員確保が難しい業種も多くみられることから、経営に悪影響を及ぼすことが懸念されている。【職業安定所（次長）】	